



平成28年9月23日
内閣府
政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

メディア向けImPACT情報発信会開催のお知らせ（第2回） （研究開発成果の説明含む：実演あり）

メディア向けに、内閣府 総合科学技術・イノベーション会議が主導する革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）のプログラム・マネージャーより研究開発プログラムの概要、出口戦略や直近の研究成果などを交え、中長期的視点でプログラムについて説明を行う ImPACT 情報発信会をシリーズで開催しています（別紙1参照）。

第2回目となる ImPACT 情報発信会では、「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現（伊藤 プログラム・マネージャー）」について行いますので（別紙2参照）、下記のとおりお知らせいたします。

記

- 日時：平成28年9月28日（水）13：00～14：30
- 場所：中央合同庁舎第8号館1階 S103 記者会見室（千代田区永田町1-6-1）
- 概要：
「しなやかなタフポリマー」の実現を目指して研究開発に取り組む ImPACT 伊藤プログラムの画期的な成果として、企業2社よりプレス発表をさせて戴きます。
併せて、ImPACTプログラムの趣旨、及び伊藤プログラムの概要を内閣府及び伊藤プログラム・マネージャーより情報発信致します。
- スケジュール：
13：00～ ImPACT取組、伊藤プログラム概要
13：40～ 伊藤プログラムのプレス発表案件（2件）※別途プレスリリースを予定
東レ(株)：環動ポリマー構造を導入し竹のようにしなやかでタフなポリマー材料を開発（実演あり）
(株)ブリヂストン：強靱高分子複合体による省資源タイヤの実現
14：10～ 質疑応答
- 説明者：
久間 和生 内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
伊藤 耕三 ImPACTプログラム・マネージャー（東京大学大学院 教授）
小林 定之 東レ株式会社 化成品研究所 研究主幹
角田 克彦 株式会社ブリヂストン 中央研究所 フェロー
- 参加申し込みについて：
参加御希望の場合9月27日（火）12時までに添付の参加申込書（別紙3）に御記入の上、下記の間合せ先へFAXで御連絡ください。

（間合せ先）

政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付
革新的研究開発推進プログラム担当室 今泉、高橋、横井、宮迫
電話：03-6257-1339（直通）
FAX：03-3581-9288

< ImPACT 情報発信会 今後の予定 >

	プログラム・マネージャー (PM)	研究開発プログラム	開催日時	開催場所
第1回	合田 圭介	セレンディピティの計画的創出による新価値創造	8月30日(火) 10:30-11:30	内閣府
第2回	伊藤 耕三	超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現	9月28日(水) 13:00-14:30	内閣府
第3回	<調整中>	<調整中>	10月~11月頃	未定
第4回	佐野 雄二	ユビキタス・パワーレーザーによる安全・安心・長寿社会の実現	12月頃	内閣府
第5回	<調整中>	<調整中>	1月頃	未定

以降、随時計画。

＜参考資料＞

ImPACT「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」とは

軽くて柔軟という特徴を示すことから、産業の様々な分野で盛んに利用されているポリマー（高分子）ですが、薄くすると破れやすく、厚く硬くすると脆くなる性質が課題となっています。

タフネス性・高靱性・自己修復性という特徴をもつ「タフポリマー」が実現すれば、燃料電池やLiイオン電池のセパレータの超薄膜化を通じて飛躍的な高性能化・軽量化・小型化などに寄与するだけでなく、車体構造での強靱化を通じて自動車を始めとする輸送機器の軽量化・信頼性・安全性を飛躍的に向上させることができます。このブレークスルーは、高分子材料が利用される産業全般に広い波及効果があり、将来的に安全・安心・低環境負荷という社会的ニーズに貢献することが期待されます。

ImPACT伊藤プログラムでは、我が国最高の企業とアカデミアが対等な立場でがっちりタッグを組み、「タフポリマー」を実用化につなげることで、高分子部材分野において、他国では簡単に追いつけない技術的優位性と現在獲得している高い世界シェアを将来にわたって維持・増強し、国益を確保しようと取り組んでいます。



東レ(株)：環動ポリマー構造を導入し竹のようにしなやかでタフなポリマー材料を開発 (実演あり)

東レ株式会社は、ポリアミドに分子結合部がスライドする環動ポリマー構造を導入した「しなやかでタフなポリマー材料」を開発することに世界で初めて成功しました。

本技術によれば、ポリマーの持つポテンシャルを最大限に引き出せる可能性があることから、今後、自動車、家電、スポーツ用品など、幅広い分野への応用展開とポリマー材料市場の拡大が期待されます。

㈱ブリヂストン：強靱高分子複合体による省資源タイヤの実現

株式会社ブリヂストンでは、産官学の連携による革新的な強靱高分子複合体「タフポリマー」の開発に取組み、既存技術の枠を超えた高強度な材料を開発し、タイヤの各部材をより薄くすることで、タイヤ重量の軽量化と材料使用量を削減し、更なる低燃費性・省資源性の実現を目指しています。

強靱化に向けた設計指針が大学の研究室から提示されており、現在この指針を基に材料を開発中です。今後、更なる強靱性の向上と、低燃費性との両立を追求していきます。

9月28日 ImPACT 情報発信会（第2回）
「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」
参加申込書

※9月27日12時までにFAXでご返信ください。
(FAX: 03-3581-9288)

【参加者登録】

所 属	
社名	
氏 名 連絡先	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)
氏 名 連絡先	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)
氏 名 連絡先	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)
氏 名 連絡先	記者/ スチールカメラ/ TVカメラ (○をつけてください)

*参加される全員の氏名をお願いいたします。